



踊れるようになったときの気分は最高

私たちのサークルは、定年後の年金ライフを健康で楽しく暮らしたいという人たちが集まってできた社交ダンスのサークルです。

社交ダンスは、軽スポーツとして中高年層でも大変普及していますが、足腰は鍛えられるし健康維持に最適です。いろいろなステップを覚え、軽快なリズムに合わせて踊れるようになったときの気分は最高で、つい夢中になってしまいます。

跡部政敏先生を講師に、毎週火曜日午前10時から12時まで中央公民館でレッスンをしています。メンバーは男性8名、女性14名の計22名、年齢もさまざま、80歳を超えた方もいます。

より多くの方々にダンスの楽しさを知ってもらい、いろいろな人との出会いを楽しもうということがサークルの趣旨ですので、気軽にどうぞ一度見に来てください。

問 中央公民館 ☎26-2453



市民文芸 応募方法

一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市字亘理町37-3、白石市情報センターへ。短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

高橋辰男 選

雨あがりの鳥見廻りそのさまをお茶を飲みつつ夫と語らう 佐藤 とく
木曾路にて求めし番傘色褪せて開く事なく幾年が経つ 平間 久子
境内に鳥のさえずり聞こえつつ亡き子の誕生日に写経すませぬ 岡崎 澄子
勇壮なりスムとこのう鼓笛隊運動会に拍手止まさり 佐藤 ひで
この春に社会人となりし孫娘毎朝仏前に祈り出でゆく 高子うこん
朝々のボチとの散歩に見る蔵王真白き雪の日毎細りぬ 高野 伝
ライラックエキソチックなこの名前ハルビンの花若き日なつかし 村山美代子
大木の倒れしままの山道に通る人なく山つつじ咲く 大津 重子
早天に一夜恵みの雨が降り生気もどりぬ花も野菜も 斎藤 光子
老い二人使わずなりし二階にも春日入れんと窓開けはなつ 石沢 敏子
評一首目。平穩な日常のひとつを淡々と歌って、無感動の中の感動というべきか。二首目。使うこともなくなった番傘は色あせても、木曾路の旅の思い出は今も鮮やかによみがえる。三首目。亡き子の誕生日に菩提寺で供養の写経をする。小鳥の声が辺りの静寂をいっそう際立たせている。

俳壇

遠藤秋尾 選

娘の庭に勿忘草を植えて去る 日下 文
潮騒を聞きあて涼し磯茶屋に 三浦 愛嶺
黒ぼたん闇の深さの中で散る 大庭 良子
アイドルの名をいただきし子猫かな 山家 弘子
夜釣舟川面にこぼす火影かな 佐藤 周子

柳壇

山田風流 選

病める子のペランダに来る梅雨の鳩 高橋 正男
名城の四隣に映ゆる梅雨晴間 岩澤 伍峯
弁慶の硯石とやあやめ咲く 制野 リエ
朝霧の晴れゆく河原行々子 川村 静恵
巡りきし喜寿を祝はれほととぎす高子たちはな評一句目。久しぶりに娘の家に来た幾日かの楽しい語りであったらう。帰りに忘れな草を庭に植えた、再び来られるかなと、ふとよぎる思いを胸に秘めて。二句目。浜辺に茶屋小屋ができる季節となった。磯茶屋に聞く潮騒が涼しさを呼ぶのであり、潮の香りがする一句となった。三句目。黒ボタンが闇の中で散ったのを知ったのは、朝になってからかもしれない。黒ボタン故闇黒の夜に散ったという詩情のある句。

宮仕え終えて蹴もつ身の自由 高橋 要一
痛くない腹さぐられる女文字 草野 清
老いてなお耳に優しいほめ言葉 大沼 妙子
高齢者増えて人口増えぬ過疎 四電 英夫
人の口借りて噂が歩き出し 佐藤 武雄
落石にあたるあたためられぬも運 平間 大恵
美しく老いたし今日も舞扇 米沢 礼子
圏外は妻に気兼ねのしない旅 日下 猛
青葉城すつたもんだと石並べ 佐藤 尚志
日曜日エプロンつけてパバ多忙 松永美智子
評一句目。禄を食む身は忍従一途。退職して毎日が日曜日の自由を得た身は悠々自適、本当の人生はこれからかも。二句目。痛くない腹を探られるのは煩わしいが、夫として悪い気もしない。妻のしつと心も、きつね色までならかわいげがあるというもの。三句目。相手の長所が見れるからほめ言葉も出る。老若に関係なく自分の長所を認められることはうれしい。八句目は携帯電話の通話不可能な圏域のことです。

= 明るいニュース =

白川中学校 「巣箱作りと無人駅清掃」で日本善行会表彰

巣箱を作り、野鳥と自然保護に努め、また、無人駅（北白川駅）の清掃奉仕に取り組んでいる白川中学校は5月26日、社団法人日本善行会（会長：鈴木俊一元都知事）の平成13年度青少年善行表彰を受けました。

日本善行会は毎年5月、環境美化、社会福祉、自然愛護などの分野で善行活動に努めた全国の個人、団体をたたえており、今回は249人、120団

体を表彰しました。

白川中学校の巣箱作りは昭和26年以来、50年間続いているもので、作った巣箱は学校近くの天神社の森に設置しています。

北白川駅の清掃奉仕は平成7年度から始め、待合室、トイレ、ホーム、階段などを清掃し、駅の環境美化に取り組んでいます。

生徒会長の吉田将太さんは「今回、このような名誉ある表彰を受け、私たち生徒にとって大変励みになりました。これからも、今までの白川中の伝統を忘れず、地域とのふれあいを大切に、地域のために自分たちができる活動を続けていきたいと思ひます」と抱負を話してくれました。

天神社の森に設置されている巣箱



北白川駅での清掃活動

私たちが応援しています 国体ボランティア④

白石キユーブ合唱団

白石キユーブ合唱団（柿崎六郎団長）は、市民合唱団としてキユーブオープンと同時に結成されました。現在のメンバーは約90人で、主婦や会社員などさまざまです。練習は週1回（金曜日の夜）、経験者はわずかですが、佐々木隆行先生の指導の下、コンサートを重ねていくたび実力も備わってきました。



指導に当たる佐々木先生

私たちは国体の開始式で、昨年のリハーサル大会と同様、組曲「蔵王」を合唱し、選手の皆さんを歓迎します。また、「君が代」「若い力」の合唱も担当します。組曲「蔵王」は蔵王の雄大さと、小さな命を大きくむ織細さが詩に込められた曲。この曲を合唱しながら地域の魅力を発信し、感銘を与えたいと思っています。同時に、



この歌を通して、試技の前で緊張している選手の皆さんに、いっらかでもリラックスしていただければと思っています。

市民の皆さんも国体の開始式で私たちと一緒に歌ってみませんか？ 練習は8月24・31日、9月14・28日の夜7時から8時まで行います。気軽にキユーブまでいらしてください。

成功させよう！みやぎ国体
白石市は「新体操競技」と「山岳競技」の開催地です。

